

## 2) 付着藻類

### (1) 調査方法

#### ① 付着藻類相調査

調査地点の流水中にある適当な大きさの石を選び、その上にコドラート(5cm×5cm 程度の方形区)を設け、コドラート内の試料を採集し、種の同定を行った。

#### ② 調査時期

調査時期は表 4.4.1.1-6 に示すとおりである。

表 4.4.1.1-6 付着藻類調査時期

調査項目	調査時期
付着藻類相調査	<ul style="list-style-type: none"><li>• 昭和 51 年 10 月</li><li>• 昭和 52 年 1、7 月</li><li>• 昭和 57 年 5 月</li><li>• 昭和 60 年 10 月</li><li>• 昭和 61 年 1、6、8 月</li><li>• 昭和 63 年 5、8、10 月</li><li>• 平成元年 8、9 月</li><li>• 平成 7 年 8 月</li><li>• 平成 8 年 9 月</li><li>• 平成 9 年 5、6 月</li></ul>

#### ③ 調査区域

調査区域は図 4.4.1.1-6 に示すとおりであり、川辺川及び五木小川の湛水予定区域と、その上流の川辺川、五木小川及び下流の川辺川とした。

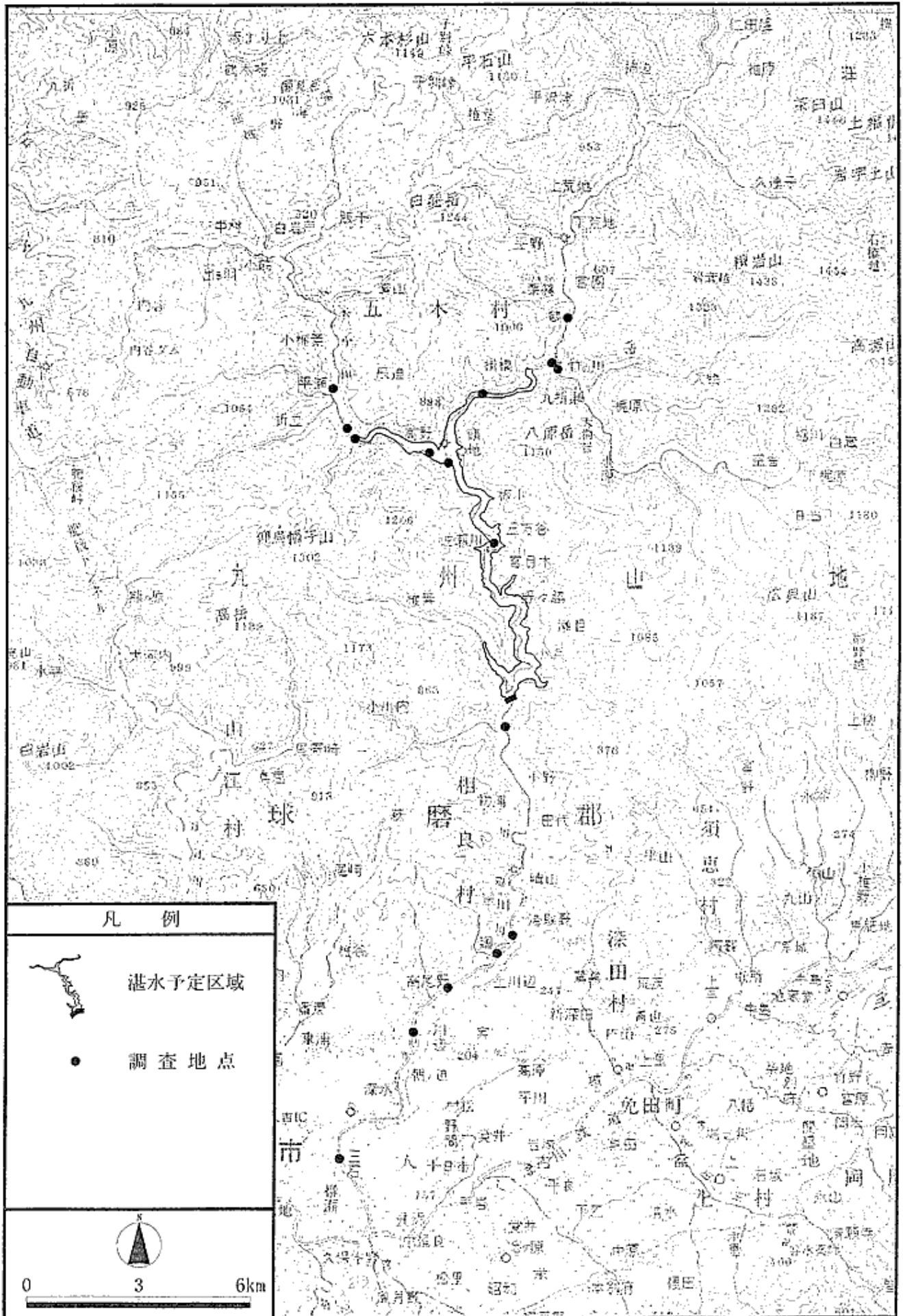


图 4.4.1.1-6 付着藻類相調査地点

#### ④ 調査結果

##### a 付着藻類相調査結果

表 4.4.1.1-7 に示すとおり、現地調査により 154 種(変種を含む。)が確認された。確認された種の一覧は巻末の資料編に示すとおりである。最も多くの種が確認されたのは珪藻綱であり、次いで緑藻綱、藍藻綱の順であった。水質の良好な河川の指標となる珪藻綱の *Achnanthes japonica* や、流量が大きく、出水・濁水などによる流量の変動がある河川の指標となる藍藻綱の *Homoeothrix janthina* が多く確認された。

表 4.4.1.1-7 付着藻類の確認種数

分類項目	種数
藍藻綱	10
珪藻綱	116
緑藻綱	27
黄緑藻綱	1
合計	154

なお、以下に示す①～④により重要な種を選定したところ、現地調査においてはこれに該当する種はなかった。

①「文化財保護法(昭和 25 年法律第 214 号)」、「熊本県文化財保護条例(昭和 51 年熊本県条例第 48 号)」により天然記念物に指定されている種

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(平成 4 年法律第 75 号)」で指定されている種

③「環境庁報道発表資料 植物レッドリストの作成について(環境庁、平成 9 年 8 月)」に記載されている種

④「熊本県の保護上重要な野生動植物 レッドデータブックくまもと(熊本県、平成 10 年 3 月)」に記載されている種